日本計量生物学会
ニュース・レター　No.35

1991年4月

目　次

巻頭言
日本計量生物学会1991、92年度役員選挙結果について
日本計量生物学会1991年度年会プログラム
Biometricsについて
日本計量生物学会1990年度第4回理事会議事録（抄）
日本計量生物学会1990年度第5回理事会議事録（抄）
1991、1992年度理事の当選人による連絡会議議事録（抄）
論文投稿のお願い
関連学会・シンポジウム等のお知らせ
会計理事からのお知らせとお願い
その他

Repeated measurement の何が問題か？

吉村　功（名古屋大学）

今年の計量生物学会年会では“繰り返し測定データの解析”というテーマの特別セッションを設けました。これはいわゆる repeated measurement data をどう解析するか議論しようというものです。

現在の統計データ解析法の中心は，分散分析で代表される，独立な誤差を持つ線形モデルでの解析法です。線形モデルが必ずしも十分には想定できない場合でも，他によい方法がなければ，それを前提にした手法を用いるのが普通です。同じ対象に対して同じ変量を測定して得られる一連のデータ，つまり repeated measurement data についても，かってはこの方針で，枝分かれ型配置での分散分析を適用していました。

ところが，たとえばヒトや動物の個体を対象とした場合，個体差は，しばしば各要因の各水準において違った振舞いをします。よほど巧みなモデルを工夫しない限り，無条件には線形モデルが適用できません。それが多くのデータで経験的に指摘されてきました。薬効や毒性の場合，データ解析の結果が間違っていると，社会的影響が大きくでます。ですから，モデルは近似だから，ということですますわけにいきません。可能な限り現実をよく反映するモデルを想定し，それに適合する手法を用いなければなりません。

ということでここ10余年の間，repeated measurement data の解析法が大きな研究テーマになり，多くの論文や著書が発表されるようになりました。その中には，繰り返しデータを多変量データとみなして解析する方法，個体差をクラスターわけする方法，非線形な構造をモデルに入れる方法，探索的にモデルを選択する方法など多様な提案があります。しかし残念ながらまだ大勢が決まったという段階には達していません。

今回はその現状を報告し，どこまでが明らかになっているか，これからどんなところをどのように改めるべきか，議論しようと思います。質問，提案，批判に参加していただきたいと思います。

日本計量生物学会1991，92年度役員選挙結果について

標記の選挙結果について，選挙管理委員会より下記の報告がなされました。追加理事の選任は当選理事による連絡会議により行なわれました。(後述の議事録参照)。

役員選挙結果報告

日本計量生物学会選挙管理委員会
委員長　上坂　浩之
委員　　佐藤　俊哉

(1) 締 切 日　1991年1月末日
開 票 日　1991年2月12日
開票場所　東京理科大学工学部　奥野研究室

(2) 有権者総数　327名
有効投票人数　70票
無効投票人数　4票
有効記名数　理事 210名
監事 65名

(3) 選挙結果（当選人）

理事

上坂　浩之	魚井　徹	大橋　靖雄	奥野　忠一	後藤　昌司
駒澤　勉	佐久間　昭	柴田　義貞	正法地　孝雄	高木　廣文
丹後　俊郎	椿　広計	福富　和夫	柳川　堯	吉村　功

監事

大瀧　慈　　芳賀　敏郎

以上

日本計量生物学会1991年度年会プログラム

日　時：1991年4月20日（土）9：25～17：00
場　所：丸の内センタービル20階大会議室
参加費：2,000円（資料代含む）

開会挨拶　佐藤喬俊（日本シンテックス・研究開発本部）

一般講演　I　9：30～10：30　座長：魚井　徹（山之内製薬・開発部）

9：30～9：50	佐藤俊哉（東京大学・疫学）	K 2 × J 表への Mantel-Haenszel の方法の拡張
9：50～10：10	辻谷将明（神戸女子大学・文学部） G. G. Koch (Univ. North Carolina)	複数個の四分表解析における「併合可能性」について
10：10～10：30	高木廣文（統計数理研究所）	層別四分表の共通オッズ比の信頼区間推定の近似的方法と正確な方法の比較

一般講演　II　10：45～11：45　座長：高野　泰（東京大学・農学部）

10：45～11：05	増山元三郎（東京理科大学・理学部）	身長成長記録からの初経年数の予測
11：05～11：25	塩見正衛（農業環境研究所）	観察による牧草量の推定

11：25～11：45　椿　広計（慶応大学・理工学部）　用量漸増法における至適用量決定の問題点

総　会　11：45～12：15

12：15～13：30　昼食休憩

一般講演　Ⅲ　13：30～14：30　座長：柴田義貞（放射線影響研究所・疫学生物統計部）

13：30～13：50　橋本哲男・大瀧　慈・鎌田七男・務中昌己（広島大学・原医研）　多重折れ線回帰モデルによる生存率解析：慢性骨髄性白血病患者の寛解期間データ解析を例にして

13：50～14：10　宮岡悦良（東京理科大学・理学部）　ロジスティック線形正規モデルにおける推定

14：10～14：30　椿　美智子（電気通信大学・電子情報学科）　繰返し測定データの背後にあるダイナミックスとモデリングとの関係

特別セッション　14：45～17：00　オーガナイザー・座長：吉村　功（名古屋大学・工学部）

繰り返し測定データの解析

矢船明史（北里研究所・バイオイアトリックセンター）　反復測定された臨床データに対する多次元正規分布モデルのあてはめ

浦狩保則（塩野義製薬・解析センター）　経時対応データの比較の方法

丹後俊郎（国立公衆衛生院・疫学部）　Repeated measurements解析に関するいくつかの統計的問題について

Biometrics について

去年，雑誌 Biometrics の投稿に page charge つまり掲載料を課すことが，編集委員会で検討されていることをお知らせしました。これについて，かなり具体的な案が，刊行物委員会 Editorial Advisory Committee のメンバーである私のところに届きました。要点は，「①掲載料は強制でなく Voluntary である。したがって払うかどうかは掲載に影響しない。②掲載料を払った場合，別刷りを一定部数無料で進呈する。③勤務先から掲載料を払ってもらえる人には，なるべく払ってもらうよう希望する。請求書は支払先に送るようにできる。ちなみに，USA の著者に対しては，Department of Defense research agencies, the National Institutes of Health and the National Science Foundation は科学研究刊行費の支払を通達 (directives) で指示 (promulgated) している。そのような“公費”支払いに事前の承認が必要ならそれに対応する。」というものです。具体的な金額や別刷り部数は決まっていないようで，意見を知らせてほしいとのことです。日本でも，たとえば電子情報通信学会では10頁の論文に17万円の掲載料（別刷り100部）を取っていますから，上の条件でなら，やむを得ないと思います，あまり多額にならないようにという程度で容認の意見を述べておきました。

吉村　功（名古屋大学工学部）

日本計量生物学会1990年度第4回理事会議事録（抄）

日　時：1990年11月15日（木）18：00～20：50

場　所：私学会館アルカディア市ヶ谷

出席者：魚井，奥野，駒澤（会計），佐久間（会長），佐藤（喬），塩見，高木，種村，丹後，柳井，吉村（以上理事），上坂，佐藤（俊）（以上選管委員），栗原（事務局）

報告・審議事項：

1991，92年度理事選挙の選挙管理委員は上坂浩之，佐藤俊哉両会員と決定したことが会長より報告され，両氏から選挙運営について報告があった。ニュース・レターNo.34は，理事選挙に関する公示が中心となる。

1991年度年会の特別セッションについては今後

担当理事で決定し，ニュース・レターに掲載する。年会の会場については応用統計学会と連絡を取り決定する。

統計学会の松田理事長より同学会設立60周年記念行事の一つとして，関連学会共催のシンポジウムを秋に行いたいとの相談を受けているという報告があった。

「毒性研究のための計量生物国際会議」について，招待講演者に招聘状を送ること，Contributed paper の対応を組織委員会で検討すること，上原記念生命科学財団より国際研究集会助成金100万円の内定があったことが報告された。同会議のための寄付金募集の趣意書を作成し，協力を理事各位に要請した。

B会員の会費は，1991年度より1,000円値上げすることになり，総会に於ける正式値上げ決定までの暫定措置を会員へお願いすること，また1992年度以降極力値上げをしない方向への協議がなされた。

日本計量生物学会1990年度第5回理事会議事録（抄）

日　時：1991年2月18日（月）
場　所：私学会館アルカディア市ヶ谷
出席者：魚井，奥野，駒澤（会計），佐久間（会長），佐藤，塩見，正法地（庶務），高木，高野，種村，丹後，芳賀，柳井，吉村（以上理事），上坂（選挙管理委員），栗原（事務局）

報告・審議事項：

「毒性研究のための計量生物国際会議」の contributed paper の申込は4月15日までであり，会場の都合で参加希望者は事務局まで予め申し出ること。この会議は中東湾岸紛争を理由に中止することはしない。学術会議第15期会員候補として奥野忠一会員を推薦し，推薦人として大橋靖雄会員を推薦人予備者として正法地孝雄会員を申請した。

1991－92年度の役員選挙を，1月末日消印有効で行ない有効投票人数70名で15名の理事および2名の監事が確定した。この15名の当選人による連絡会議を3月4日（月）に開催して5名の追加理事を決める。

1991年度年会の特別セッションテーマは「Repeated measurements」（オーガナイザー：吉村，丹後各理事担当）である。雑誌Biometrics の page charge に対する Japanese Region の意見として，日本では page charge に概ね賛成であるが，日本でも全員が page charge を支払える状態ではないと言う主旨の返事を吉村会員が Editorial advisory committee に送る。広崎昭太監事が病気のため上坂浩之会員を監事に指名した。

1991，92年度理事の当選人による連絡会議議事録（抄）

日　時：1991年3月4日（月）18：00～19：45
場　所：私学会館アルカディア市ヶ谷
出席者：上坂，魚井，奥野，後藤，駒澤，佐久間，正法地，高木，丹後，椿（以上当選理事），栗原（事務局）

審議事項：

推薦理事として，

佐藤喬俊，佐藤俊哉，塩見正衛，高野秦，種村正美の5会員を推薦した。

論文投稿のお願い

従来 Bulletin は本学会の年会の Proceeding としての役割を果たしてきましたが，会員相互間の研究情報の流通，伝達手段として，より有効に機能する Bulletin をめざすため，年会に発表された論文以外に，『投稿論文』，『特集論文』なども掲載し，幅の広い内容を持った Bulletin へと改善することが去る1986年度第1回理事会で決定されております。活発な投稿を促す意味も含めて，Preprint 的な論文も歓迎しますが，日本語ワープロ，もしくは英文タイプの原稿作成を条件とします。会員各位の研究成果の積極的な御投稿をお願いします。なお，投稿に際しては予め投稿用原稿用紙および原稿作成要領を事務局あて御請求下さい。なお事務局の住所は本ニュースレターの最終頁に記載されています。

Bulletin 編集担当理事　吉村　功

関連学会・シンポジウム等のお知らせ

応用統計学会1991年度年会

日　時：1991年4月19日（金）
場　所：丸の内センタービル20階大会議室
参加費：会員1,000円，非会員2,000円（資料代含む）
連絡先：〒223 横浜市港北区日吉3－14－1
慶応義塾大学工学部数理科学科内
応用統計学会事務局
Tel. (Fax) 045-562-4442

毒性研究のための計量生物国際会議

日　時：1991年5月23日（木）～25日（土）
場　所：東京大学山上会館
主　催：計量生物国際会議組織委員会（委員長：佐久間昭）
参加費：一般25,000円，大学等学術関係者15,000円（資料代，レセプション参加費含む）
連絡先：〒464 名古屋市千種区不老町
名古屋大学工学部工業数学教室
吉村　功
Tel. 052-781-5111　内線4663

第59回統計学会大会

日　時：1991年7月23日（火）～26日（金）
場　所：神戸大学経済学部
連絡先：〒106 港区南麻布4－6－7
統計数理研究所内
日本統計学会プログラム編成委員会
Tel. 03-3442-5801

会計理事からのお知らせとお願い

1）1991年度会費について

(1)　A会員（国内会員）の会費は1990年度総会（1990年4月20日）において1991年度から1,000円の値上げが認められ，1991年度からの会費は3,500円になります。

(2)　B会員（国内・国際会員）の本部送金額が1991年度から35ドル／人（現行22ドル／人）に大幅値上げが本部から正式に連絡（11月2日付け）がありました。

本学会ではこの対策をニュース・レターNo33, 34にてお知らせした通り，本年4月20日の総会にはかり，B会員の会費を1,000円値上げする予定です。

B会員のご理解とご協力をお願い致します。なおC会員の会費は現行通りです。

2）1990年度の会費未納の方にお願い

昨年度はまだ40数名の未納の方がおられます。早急に納入をお願い申し上げます。本学会の会計年度は国際計量生物学会に合わせて1～12月です。（ニュース・レターNo.27でお願いしましたように，前年度分までの会費未納者（A会員を除く）にはBiometricsが届かなくなります。未納の方は本年度分と合わせ至急納入をお願い申し上げます。）

会　費	1990年度	1991年度
A会員	2,500円	3,500円
B会員	7,000円	8,000円（予定）
C会員	4,500円	4,500円

郵便振替口座：
東京5－22365　日本計量生物学会
銀行振込口座：
第一勧業銀行飯田橋支店
普通　061－1499027
日本計量生物学会　会計理事　駒澤　勉

事務局からのお願い

所属，連絡先等に変更のあった会員の方は，事務局まで御一報下さい。

日本計量生物学会事務局
〒162 東京都新宿区神楽坂1－3
東京理科大学工学部経営工学科
奥野研究室
Tel. (03) 3260-4271内3339
栗原恵美子